

全国大会出場マイコンカー アンケート (Basic Class)

学校	宮崎県立佐土原高等学校
氏名	河野馳世
カーネーム	炙りサーモン
全長	514mm
前輪からセンサまでの長さ	286mm ※前輪は中心から、センサ基板は S7316 までの距離
トレッド	前輪：157mm 後輪：110mm ※タイヤの中心から中心までで、お願いします
ホイールベース	173mm
重量 (電池込み)	691.1g
電池の種類	マイコン側：エネループライト モータ側： エネループ
駆動系	駆動方式 前輪駆動
	ギヤ比 11.6:1
	タイヤの 直径 前輪：60.5mm 後輪：26mm
	タイヤの 製作方法 ホイールは3D プリンタ (PETG)で製作、オプセル (前輪) EMO (後輪) をホイールに貼り付け、養生テープを貼り、最後にシリコンシートを貼る
サーボの型式	SANWA SRM-102Z
センサ基板の種類	センサ基盤 Ver. 5
特 徴	車体をぎりぎりまで低くして、安定性を出しました。軽量化のために九州地区大会の後に、センターサーバーをプラ板からカーボンに変えました。
苦労した点	全国大会に向けて、特にカーブとレーンチェンジの調整を頑張りました。カーブはできるだけ速度を落とさずに安定して走れるように様々なコースで練習を重ねてきました。それのおかげで大会でもカーブは一度も脱輪することなく走ることができました。レーンチェンジは曲げを少なくして走れるように何度も微調整をしました。予選一回目で右と左のレーンチェンジのプログラムは左右対称にしていたのに、左レーンチェンジだけ落ちた時は調整するのが難しかつたです。
感想	初めての全国大会でベスト8 という結果を残すことができて、非常に嬉しかつたです。ただ予選1回目で脱輪してから調整しきれずに2回目も落ちてしまい、それにより坂下のブレーキをあまり弱くできないまま決勝トーナメントに進んでしまったのは自分の力の無さを感じました。次の大会で同じような場面があったら、脱輪を恐れすぎずにプログラムしようと思いました。会場についてからは車体のチェックが多くできるように、ホテルでじっくりプログラムを考え

られたので控室ではあまり焦らずに準備することができました。他校の選手が走る直前に車体を指さしながら丁寧にチェックしていく、私も見習いたいと思いました。今回の結果は、顧問の先生、先輩、仲間、家族の協力が無かつたら出せなかつたと思います。そのことにしつかり感謝しながら日々の部活動に取り組んでいきたいと思います。そして次の大会では、今大会の悔しさをばねに優勝を目指します。ありがとうございました。

■写真





